

風水害その時 どう行動しますか？

～開成町浸水対応訓練実施結果報告～



9時00分 町災害対策本部設置



大雨洪水警報発令に伴い、役場に災害対策本部が設置され、町内及び酒匂川の情報収集を開始しました。

町災害対策本部の要請により各自自主防災会に地区災害対策本部が設置されました。

町水防団（消防団、以下水防団と記載）は、各消防詰所に集合。その後、酒匂川の水位がはん濫注意水位を超えたことを受け、堤防及び町内の状況監視を行いました。



町災害対策本部

9時30分 吉田島地区に避難準備情報発令



酒匂川の水位が避難判断水位を超え、酒匂川に展開していた水防団からの現地の状況

報告を受けて、町災害対策本部は吉田島地区に避難準備情報を発令しました。

避難準備情報発令に伴い、吉田島地区各自自主防災会において、要援護者の方が支援者の協力を得て、地域避難所へ避難を開始しました。

9時40分 吉田島地区に避難勧告発令



酒匂川の水位がはん濫危険水位を超え、酒匂川に展開していた水防団からの現地の状況報告を受けて、町災害対策本部は吉田島地区に避難勧告を発令しました。

避難勧告発令に伴い、吉田島地区の町民は地域避難所へ避難しました。

その後、地区災害対策本部は広域避難所への安全な避難経路を検討し、広域避難所への避難を開始。また、要援護者の方は支援者とともに、要援護者拠点施設（福祉会館）へ向かいました。

また、酒田地区各災害対策本部は町災害対策本部の要請を受け、広域避難所において避難者受け入れ支援を開始しました。

～広域避難所では～

文命中学校・開成南小学校の広域避難所では、自主防災会により、総務班・情報広報班・保健衛生班・食糧物資班を編成し避難所運営訓練を行いました。

○総務班

広域避難所運営委員会として、避難所内のルール作成や行政との調整、ロール畳やダンボールの間仕切りを使用し、避難所の設営をしました。



ロール畳・間仕切りを使用した避難所設営

○情報広報班

広域避難所内の無線機を使用し、町災害対策本部へ避難状況の報告・町災害対策本部からの災害情報を受け、避難所内へ広報を行いました。

○保健衛生班

非常用トイレの備蓄場所を確認し設置場所の検討を行い、実際に組み立て・設置・解体を行いました。



非常用トイレ設置訓練

○食糧物資班

酒田地区各災害対策本部より搬入された備蓄食糧を受領し、調理・分配しました。



広域避難所での備蓄食糧調理訓練

9時40分 小田急線開成駅で滞留者が発生



大雨による酒匂川の増水により、川の水があふれる危険性があるため、小田急小田原線は運転を見合わせました。これに伴い、小田急線開成駅から町災害対策本部に開成駅に滞留者が多数いるとの連絡が入りました。災害対策本部はパナック工業(株)開成工場に対し、運転再開まで滞留者用一時滞在所の開設を要請するとともに、開成駅に要員を派遣し、駅職員とともに一時滞在所まで誘導しました。



開成駅滞留者誘導訓練

10時00分 河原町地区に避難指示発令



水防団から「十文字橋上流50m付近から水があふれそう

11時00分 全訓練終了



実際に災害が発生した場合、避難所の運営は町民の皆さん自身で運営していかねばならないことから、今回の訓練は、町職員はあくまでサポート役となり、町民の方が中心となって広域避難所を運営しました。

また、町からの情報提供として、初めてエリアメール、テレビ神奈川のデータ放送を使用しました。

町では今回の結果・反省点をふまえて、今後もいざというときのために、本番に即した訓練・準備を行っていきます。

環境防災課

☎84-0314

防災情報やイベント情報を テレビ神奈川データ放送 で配信開始

●自治活動応援課 ☎84-0315

町では4月1日からtvk（テレビ神奈川）のデータ放送を利用して防災情報やイベント情報を配信します。

データ放送の受信方法

①テレビ神奈川（3チャンネル）の画面でテレビのリモコンの「d」ボタンを押します。

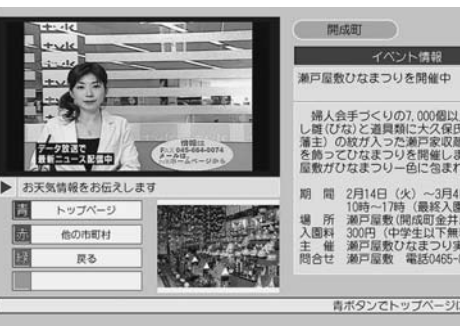


②データ放送が表示されますので画面左側の「マイタウン情報」を選択します。

③開成町のページが表示されます。画面右側の行政情報から「イベント」または「防災気象情報」を選択します。



●「防災気象情報」を選択すると防災行政用無線の放送文が表示されます。



●イベントを選択すると開成町内のイベントやお知らせなどが表示されます。さらに選択すると詳しい情報が表示されます。